

平成30年度「被災地支援義援金」



平成30年7月豪雨(西日本豪雨)で被災した地域の早期の復旧及び復興に役立ててもらおうと、堂地隆一会長ら7人が8月7日に宮崎市役所を訪ね、総額50万円の義援金を戸敷正市長に手渡しました。

会員企業全社の総意として寄贈されたもの。市長室で行われた贈呈式には、堂地会長のほか、会員を代表して緒方克則副会長、平野均氏、後藤正樹氏、谷口真樹氏、平原勝利氏、園田龍男相談役が出席し、堂地会長が戸敷市長に目録を手渡しました。

戸敷市長は、各地で甚大な被害が発生していることに触れ、市も職員を派遣するなどの対応を図っている中、「いただいた義援金により地域が早期の復旧・復興を果たすための支援になれば」と話しました。

堂地会長は「多くの人命や財産が失われ、未だ多数の方々が避難生活を強いられている。被災された方々が希望を持ち、前向きに生活を再建していくための資金として使ってもらえれば」と話しました。